



# 謹賀新年

方面總監統率方針  
**任務完遂**

発行所

陸上自衛隊  
中部方面總監部広報室  
〒664-0012 兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1  
電話…072(782)0001

新年明けましておめでとうございます。中部方面隊の隊員諸官及びご家族並びに協力諸団体等の皆様方におかれましては、コロナ禍で例年より控えめな新年をお健やかに迎えることと存じます。また、コロナ禍での医療従事者の方々の献心に対しまして、深甚なる感謝を申し上げます。

さて、我が国を取り巻く安全保障環境は、中国による現状変更の試みの加速、北朝鮮による核・ミサイルの脅威の増大及びロシアによる北方領土周辺での軍事活動の活発化など依然として不透明・不確実な状況にあります。昨年の国内では、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、関西空港や中部国際空港における水際対策、2府14県での37回にわたる教育支援等や12月中旬からの大阪での医療支援任務を行うとともに、令和2年7月豪雨に伴う15日間にわたる災害派遣や兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県及び香川県における鳥インフルエンザに係る災害派遣を11回実施しました。この間、中部方面隊創隊60周年記念行事の規模の縮小や、各種行事が中止となる中においても、協力諸団体皆様の温かい御理解・御支援を賜りましたことは、我々の励みとなりました。

令和3年は、新型コロナウイルス感染症の継続が予想される中、昨年同様、数多くの災害派遣等の出動があるかもしれません。国際任務、東京五輪支援や大規模演習も予定されています。限られた時間の中で練成訓練に充当する時間を確保するためには、基礎となる

部隊の練成を重視し、集合訓練等を効率化し、各職種の知識と経験を活用し、演習場をより使い易くしていかねばなりません。また、其々の現場で、女性の活用、若者の抜擢、丁寧な教え導きあつて仲間を輝かせていくことに努めていかねばなりません。

一方で、少子高齢化の中で新たな隊員を確保することは、自衛隊の存亡に関わる課題と認識しています。隷下各部隊等と地方協力本部が一丸となつてこの課題に取り組んでいく他、部隊、隊員自らの後継者発掘の努力も必要であると考えています。更なる各協力諸団体の皆様からのご支援とご声援を宜しくお願い申し上げます。

結びに、本年は、丑年です。「うし」は、力強さや粘り強さ、誠実さの象徴と言われています。粘り強く何が問題かを見極め、改善事項を具体化し、多くの「改善・進歩」が実行される丑年となることを目指しつつ、新型コロナウイルス感染症の早期収束、隊員諸官及びご家族並びに協力諸団体等の皆様方のご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



中部方面總監  
陸将 野澤 真

## 大阪府における新型コロナウイルスに係る災害派遣

災害派遣



隊員に見送られる医療支援チーム

中部方面隊（總監 野澤陸将）は、大阪府知事からの要請に基づき、令和2年12月14日（月）から新型コロナウイルス市中感染拡大防止に関する災害派遣として、7名から成る医療支援チームを派遣した。派遣先は、大阪府立中河内救命救急センターの2か所。医療支援として医師の診察補助、人口呼吸器の管理・取り扱い、検温、血圧測定、入院患者の看護等を行う。本災害派遣の実施により、大阪府の医療の支えに寄与していく。

災害  
派遣

# 鳥インフルエンザに係る災害派遣

期 間	派遣先	派遣部隊
11月26日～28日	兵庫県淡路市	第3師団
12月2日～4日	香川県三豊市	第14旅団
12月6日～7日	奈良県五條市	第3師団 第4施設団
12月7日～9日	広島県三原市	第13旅団
12月10日～11日	和歌山県紀の川市	第3師団
12月11日～14日	岡山県美作市	第13旅団

第3師団（師団長 山根陸将）、第13旅団（旅団長 児玉陸将補）、第14旅団（旅団長 遠藤陸将補）及び第4施設団（団長 坂元陸将補）は、令和2年11月26日から12月14日の間、中部方面隊管内6県で発生した鳥インフルエンザ発生に係る災害派遣を計6回実施した。いずれの災害派遣においても各部隊は24時間態勢で活動し、迅速に任務を完遂させた。



作業後の消毒（淡路市）



タイベックスーツの着用（三豊市）



資材準備（五條市）



鶏舎への移動（三原市）



通信所掩壕構築（中部方面通信群）



総監による視察

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、11月13日（金）から24日（火）までの間、方面総監直轄部隊である第8高射特科群（群長 押川1佐）、中部方面通信群（群長 戸1佐）及び中部方面情報隊（隊長 下畑1佐）等に対して青野ヶ原演習場等において検閲を実施した。検閲にあたって、各部隊は、「方面隊の職種のプロフェッショナル集団」として、これまでの練成成果を遺憾なく発揮した。

## 方面総監直轄部隊訓練検閲



ガウン着脱要領の教育（大阪）



隊員による全般説明（岡山）

第3師団（師団長 山根陸将）及び第13旅団（旅団長 児玉陸将補）は、大阪府及び岡山県で新型コロナウイルス感染症に資する教育支援を実施した。バスの養生要領、ガウンの着脱要領、ゾーニングの留意等について教育を実施した。これらの教育を通じ、民生の安定に寄与するとともに、地元の信頼感を醸成することができた。

## 新型コロナウイルス対応に 資する教育支援



## 総監部隊視察



広報官との懇談（和歌山地本）



訓練視察（和歌山駐屯地）



隊内巡視（八尾駐屯地）

中部方面総監（野澤陸将）は11月24日（火）から25日（水）に自衛隊和歌山地方協力本部及び和歌山駐屯地、12月10日（木）に八尾駐屯地への部隊視察を行った。中部方面総監は、各駐屯地等において広報官との懇談や訓練視察を通じて現況を確認するとともに、訓話を通じて統率方針及び要望事項を周知した。

## イベント情報

実施予定日	行事名	場所	問い合わせ先
1/13	女性限定 手作りマスク作成体験会	奈良地方協力本部	奈良地方協力本部 0742-23-7001
1/16	三次CCプラザ自衛隊防災展	三次CCプラザ	広島地方協力本部 082-221-2959
1/24	中部方面音楽祭り <small>一般公開無し</small>	兵庫県立芸術文化センター	中部方面隊 総監部広報室 072-782-0001
2/28	第19回師団音楽祭り (第10音楽隊)	瀬戸文化センター	第10師団 広報 052-791-2191
2/28	令和2年度旅団定期演奏会 (第14音楽隊) (四国4県限定)	香川県県民ホールレクザムホール	第14旅団 広報 0877-62-2311

各行事は、日程等の変更や観客数に制限が設けられる場合があります。事前にご確認ください。

## 第10師団訓練検閲



攻撃前の前進  
(第33普通科連隊)



段列の移動  
(第10後方支援連隊)



化学攻撃対処  
(第10通信大隊)

第10師団（師団長 鈴木陸将）は、11月13日（金）から21日（土）までの間、訓練検閲をあいば野演習場において実施した。本訓練検閲により、第33普通科連隊（連隊長 向田1佐）、第10後方支援連隊（連隊長 古賀1佐）、第10通信大隊（大隊長 森田2佐）、第10偵察隊（隊長 大岩2佐）及び第10飛行隊（隊長 新岡2佐）の部隊に対して、師団の攻撃を主体とした戦術行動の練度向上を図ることができた。

## 部隊レンジャー訓練

3月12日、令和2年度第10師団普通科連隊及び第1036師団普通科連隊のレンジャー訓練が実施された。酷暑下での訓練は、体調を整え、基礎訓練、射撃、歩行、突破、地雷、銃撃、射撃、全課程を想定し、修了した。隊員は、この訓練を誇りに思っている。

部隊	第7普通科連隊	第36普通科連隊	第14普通科連隊	第35普通科連隊
修了者	16名	14名	10名	16名
景況				

## 在大阪イタリア総領事来隊



懇談の様子

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、12月2日（水）在大阪イタリア総領事（ルイージ・ディオダーテイ氏）の訪問を受けた。懇談では、コロナ禍で直接交流することが困難な状況においても両国の信頼関係は継続していることを確認するとともに、日本とイタリアそれぞれがコロナ対応の実情などを率直に語りあった。また、総監は、日本人のイタリアブラジルに対する羨望や自身もイタリア料理が好物であることを語り、終始、和やかな雰囲気の中で、懇談を終了した。

# ふあみさぽ通信 (連載:第49回)



安否確認訓練 (写真①)

今年度も松山駐屯地業務隊は、愛媛県を担当地域として、平成30年7月に愛媛県家族会及び愛媛県隊友会と家族支援に関する協定を締結し、両者と連携した家族支援施策に取り組んでいます。



家族支援会同 (写真②)

令和3年2月の南海レスキュー訓練時に、家族会及び隊友会の協力を得て、支援要望隊員家族の電話連絡による家族安否確認を検証する予定です。

令和元年11月に関係部外団体(家族会4名、隊友会6名)、支援要望隊員の家族(3名)の参加を得て、駐屯地において安否確認訓練(写真①)を実施しました。本訓練では、厚生センタ―談話室を避難所に見立て、家族会会員及び隊友会会員が隊員家族に対し、聞き取りにより安否確認を行いました。その結果は各団体本部経由で業務隊に伝達され、伝達要領の実効性向上に寄与しました。

## 松山駐屯地業務隊

## CSMの提言

陸曹候補生選抜試験を通して



第13高射特科中隊  
先任上級曹長  
(日本原駐屯地)  
准陸尉  
大呂 和基

新年明けましておめでとうございます。皆さま健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。この度「飛鳥」投稿の機会をいただきましたので、「隊員育成」について思いの一端を述べたいと思います。

先任上級曹長として、特に重要視している隊員育成の一つに陸曹候補生選抜試験があります。我が中隊では、中隊皆で協力し、受験者を合格させようという気風が根付いています。具体的には、中隊長以下幹部・陸曹は、一次・二次試験練成において、知識・経験に基づいた熱い指導を行います。また、後輩陸士も練成のサポートを積極的にに行い、中隊一丸となった練成を実施しています。

受験者にとってこの選抜試験は、単に陸曹になるための識能を向上させるだけのものではなく、これまでの自分の在り方がどうであったか、これから進もうとする険しき道への覚悟をもたらず時間となります。また、その中で自分の成長に携わってくれた人々へ感謝の気持ちを持てるようになります。

そして、陸曹候補生選抜試験がもたらす効果は、他隊員にも見られ、受験者を合格させようとする献身的なサポートが、後輩隊員を自ら育成するという矜持、役立ち感に繋がることです。若年陸士にすれば、自分たちの進路にここまで手厚く関わってもらえると安心・信頼感を得られます。それらは、総じて部隊の一体感を醸成することになります。

一体感のある部隊は、一日にしてなりません。ワインを醸成させるがごとく、細心の注意を払いつつ、粘り強く皆で作りに上げるものです。陸曹候補生選抜試験を通じた隊員の育成は、部隊の一体感を育む取り組みであり、最も有効な服務指導の一つと言えるでしょう。

## 地本のチカラ

(連載第22回:富山地本)

新型コロナウイルス感染症流行による影響で、今年度は従来行ってきた学校訪問や各種イベント参加による募集活動を行うことが困難な状況が続いております。そこで、富山地本(本部長 1等陸佐 飯島達也)は、募集広報や情報発信において、これまで以上にSNS

などのツールを積極的に活用しています。自衛官にとっては当たり前に思える日々の活動も、一般の方からすれば珍しいものが多く、そういった事柄を小まめにSNSで発信することで、募集対象者の興味を引くきっかけとしていきます。

一方で、公共交通機関における広告等も機会をとらえて掲載してきました。今年度については、従来の枠にとられない広告の作成をめざし、地域在住の漫画家・森みちこ氏に「自衛官候補生の魅力」広告を依頼・製作しました。

森氏は優しく愛らしい画風で県民に親しまれており、自然に「職業としての自衛隊」が浸透することを期待して、公共交通機関の中吊り広告のほか、配布チラシとしても活用する予定です。

**自衛官の「魅力」は入口が自衛官候補生です。(3歳未満までOK)**

- 2年間の訓練で、様々な職種を体験できる。
- ※特別訓練種別を免除(1年制) 陸自(5年制) 海自(5年制) 空自(5年制) 防衛研修所(2年制) 防衛医科大学校(5年制) 防衛医科大学校(5年制) 防衛医科大学校(5年制)
- ※特別訓練種別を免除(1年制) 陸自(5年制) 海自(5年制) 空自(5年制) 防衛研修所(2年制) 防衛医科大学校(5年制) 防衛医科大学校(5年制) 防衛医科大学校(5年制)
- ※特別訓練種別を免除(1年制) 陸自(5年制) 海自(5年制) 空自(5年制) 防衛研修所(2年制) 防衛医科大学校(5年制) 防衛医科大学校(5年制) 防衛医科大学校(5年制)

**自衛隊山地方協力本部**

〒930-0855 富山県中野町6-24  
TEL/FAX: 076-441-3271  
E-mail: recruit1-love@fco.mod.go.jp

### 「自衛官候補生の魅力」の広告

富山地本は、新型コロナウイルス感染症流行による影響が長引く中、各種のツールを活用することで、県民が受け取りやすい情報発信を模索しつつ、地域の信頼と自衛隊の次代を担う人材獲得のため、今後積極的に広報を実施してまいります。